

うまい!

岩船米づくり情報 No. 7

令和 2 年 7 月
岩船農業振興協議会
村上農業普及指導センター

**適切な水管理と高温登熟を想定した追肥対応で
倒伏&栄養凋落させない稲穂に仕上げましょう!**

◇7月27日現在の生育状況【普及センター調査ほコシヒカリBL】

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)		葉色 (SPAD)		予想出穂期
		本年	指標比	本年	指標差	
山北/大 毎	5/10	82	104	31.5	- 1.0	8月11日
朝日/川 端	5/14	86	109	30.1	- 2.4	8月6日
村上/山辺里	5/16	83	105	37.5	+ 5.0	8月10日
神林/牛 屋	5/11	86	113	33.5	+ 0.5	8月8日
荒川/名 割	5/14	86	108	35.5	+ 2.2	8月15日
関川/下 関	5/12	77	99	35.4	+ 1.4	8月15日
平均	5/12	83	107	33.6	+ 0.5	8月9日

※平均は、6地点（旧市町村）の水稻作付面積に応じた加重平均

- 草丈：並～やや長 ●葉色：並～やや濃
- コシヒカリの出穂期は、平年より1日程度遅い見込み

新潟地方気象台7月23日発表の北陸地方1か月予報によると、8月に入ると平年同様、晴れの日が多くなり、8月8日以降の気温は平年並または高い確率が、ともに40%と予想されています。

コシヒカリでは、出穂期後の高温の影響が懸念されます。最新の気象予報と葉色の推移を踏まえた追肥対応や用水の供給状況に応じた水管理を適切に行いましょう。

1 コシヒカリの2回目穂肥は確実に

- 8月以降は高温が見込まれます。分施肥体系で1回目の穂肥を施用していないほ場では、**確実に穂肥を施用しましょう。**
- 2回目穂肥は、倒伏に直接影響しない時期となる出穂10日前（葉耳間長±0cm）を確認してから施用しましょう。（詳しくは「岩船米づくり情報 No.6」参照）

2 出穂前の葉色を確認して追肥判断

- 梅雨明け後は、葉色の推移に注意して、急激に葉色が低下して出穂期の葉色が淡くなると予想される場合は、出穂直前（走り穂が見られる頃）までに追肥を行いましょう。

出穂直前追肥が必要なコシヒカリのめやす（判断時期：8月初め）

	コシヒカリ葉色のめやす	施用時期	穂肥施用量
化学肥料体系 （慣行栽培）	出穂期3日前に SPAD31以下 葉色板単葉4.0以下	出穂期3日前 まで	チッソ成分 1.0kg/10a
有機質肥料体系 （減減栽培）	出穂期6日前に SPAD33以下 葉色板単葉4.5以下	出穂期3日前 まで	チッソ成分 1.0kg/10a

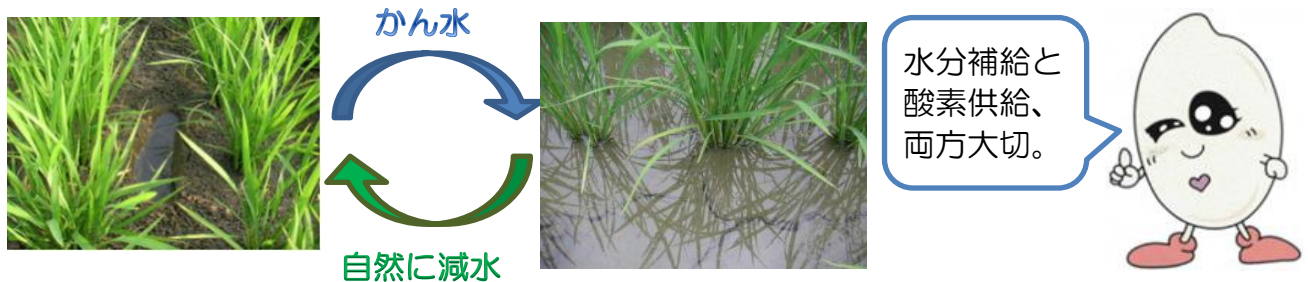
基肥一発肥料体系の追肥	出穂期 10 日前に SPAD 32 以下 葉色板単葉 4.2 以下	出穂期 10 日 前まで	チッソ成分 1.0 kg/10a
-------------	---------------------------------------	-----------------	---------------------

注) 簡易葉色板では、「適」よりもやや濃い程度でも追加穂肥が必要です。
なるべく速効性肥料で追肥しましょう。

3 地域の用水供給状況に応じた水管理を ~出穂 25 日後まで「飽水管理」~

- 出穂 25 日後頃（収穫の 2 週間前）まで飽水管理を行い、根の活力維持を図り登熟を向上させましょう。
- ただし、台風接近に伴うフェーン現象による強風、高温の被害発生が予想される場合は、予め湛水して稲体を保護しましょう。
- 輪番給水地域では、通水日を確認して、効率的な水管理に努めましょう。

飽水管理ってどんな管理？ ☞ ほ場に 2~3 cm 水をためて足跡や溝に水がなくなったらかん水する管理です！



~用水は限りある資源です、「自分さえ良ければ」はダメ、地域全体で大切に使いましょう~

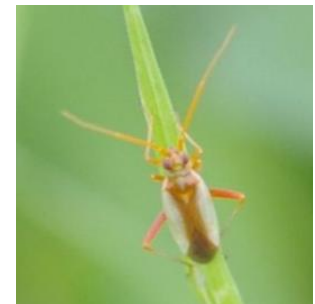
4 カメムシ類・穂いもち防除の徹底を！ ~美しい穂に仕上げましょう~

(1) カメムシ類の防除

- 斑点米カメムシ類の被害を抑えるため、計画的な除草と防除を徹底しましょう。
- 早生では 2 回防除、コシヒカリでも 1 回防除を確実に実施しましょう。

カメムシ類の防除（2 回防除の場合）

回数	めやす	カメムシ成長段階
1 回目	出穂期の 7 日後	成虫が本田侵入
2 回目	1 回目から 7~10 日後	卵がふ化し終わった頃



今年県内で発生が多い
アカスジカスミカメ
体長約 4~5 mm

(2) いもち病

- 7 月は長雨・少照等いもち病の発生に好適な気象条件で推移しており、葉いもちの発生が各地で確認されています。ほ場を見て歩き、多発生を確認したら、防除を行いましょう。
- 「葉いもち」が発生したほ場やいもち病が発生しやすい条件では、「カメムシ防除」と併せて「穂いもち」防除を実施しましょう。
- ただし、これから共同防除の時期になります。いもち病発生ほ場で無人ヘリ等による共同防除が行われる場合、共同防除までの期間や発生量を確認し、必要に応じて追加防除を実施しましょう。